

手をつなぐ親たち

第48号

平成30年10月30日

題字 山野井 整(ワークランドベにばな)
絵 宮美 柚音(県立村山特別支援学校小学部4年)

一般社団法人 山形県手をつなぐ育成会

編集・発行 ● 〒990-0021 山形市小白川町二丁目3-31 山形県総合社会福祉センター内 TEL(023)623-6572 FAX(023)623-6571

E-mail ● y-ikuseikai@coda.ocn.ne.jp ホームページ ● <http://yamagata-ikuseikai.net/>

ブログ ● <http://yamagatakenikuseikai.blog.fc2.com/> フェイスブック ● 山形県手をつなぐ育成会Facebook 発行責任者 ● 阿部 高之

昭和35年に山形県手をつなぐ親の会が発足してから58年になります。平成3年、30周年を記念した誌「福祉はこころ」中で、山形県手をつなぐ親の会初代会長の中村律氏は、「自分たちで出来ることは自分たちの手でやろう」、加えて「親の会の念願を社会全体の課題とするために、もっと広く社会の共感を得るよう頑張る」と、また、現在の全国手をつなぐ育成会連合会の前身である全国精神薄弱者育成会の皆川正治理事長は、「何もないところから出発して、相談活動を興し、施設を経営し、必要なことにはみな手を出して勇敢に実践してきました」と述べています。これらの言葉からは先輩方のしょうがい者への並々ならぬ思いと溢れんばかりの情熱を感じました。

福祉施策は着実に進展してきました。それは、地域の中で要望を多くの人たちと一緒に

活動を進め、問題を解決するため、さらに前に進まなければなりません。地域において手をつなぎ、輪をつくり、市町村、県、東北、全国に、福祉の輪を広げていきましょう。

しかしながら、現在は、先輩がたの功績に寄りかかって、半分、満足〳〳の状況にあり、会員の減少によって育成会組織の元気が徐々に失われつつあるのも事実です。今、育成会が一丸となってやるべき課題は山積しています。新たな課題も次々に生じてきております。その一つに親と本人の高齢化があります。「親亡き後」は差し迫った問題です。将来とも安心して生活が送られるように「親あるうち」に支援する手立てを早急に構築しなければなりません。また、虐待や差別・偏見も依然として根強いものがあります。「共生社会の実現」のためには、知的しょうがい者に対する理解を日本中に限なく広げていくことが重要です。会員等でつくる山形の「花笠ほーぷ隊」は、知的しょうがい者への理解を促進するために、疑似体験等による活動を多くの団体や職場で始めています。

しょうがい者が安心して生活できる社会は、国民みんなが安心して生活できる社会に繋がります。

これからも、私たちは、先輩方の活動を学び、問題を解決するため、さらに前に進まなければなりません。地域において手をつなぎ、輪をつくり、市町村、県、東北、全国に、福祉の輪を広げていきましょう。

て訴える活動を展開し、さらに、県、全国レベルの運動に広げるといふ育成会の活動によって、要望が政策となり、先輩達の願いが多くの施策に反映されるようになってきたからです。

しかしながら、現在は、先輩がたの功績に寄りかかって、半分、満足〳〳の状況にあり、会員の減少によって育成会組織の元気が徐々に失われつつあるのも事実です。今、育成会が一丸となってやるべき課題は山積しています。新たな課題も次々に生じてきております。その一つに親と本人の高齢化があります。「親亡き後」は差し迫った問題です。将来とも安心して生活が送られるように「親あるうち」に支援する手立てを早急に構築しなければなりません。また、虐待や差別・偏見も依然として根強いものがあります。「共生社会の実現」のためには、知的しょうがい者に対する理解を日本中に限なく広げていくことが重要です。会員等でつくる山形の「花笠ほーぷ隊」は、知的しょうがい者への理解を促進するために、疑似体験等による活動を多くの団体や職場で始めています。

しょうがい者が安心して生活できる社会は、国民みんなが安心して生活できる社会に繋がります。

これからも、私たちは、先輩がたの活動を学び、問題を解決するため、さらに前に進まなければなりません。地域において手をつなぎ、輪をつくり、市町村、県、東北、全国に、福祉の輪を広げていきましょう。

阿部高之新理事長ご挨拶
「親あるうちに」支援する
手立ての構築に注力



阿部高之 新理事長

第58回東北ブロック大会 天童市で開催

大会テーマ「一人ひとりの尊厳ある暮らしと共生社会の実現を目指して」

9月8日(土)～9日(日)の二日間にわたって、第58回手をつなぐ育成会東北ブロック大会・本人大会(併催)第30回山形県知的しょうがい者福祉大会が天童市天童ホテルで開催されました。東北ブロック大会の山形県の開催は7年ぶりです。

第1日目(9月8日) 「大会式典」・「中央情勢報告」



天童ひまわり園利用者の「明翔太鼓」

引き続き、大会式典では24名のご来賓をお迎えしました。そこでは、東北ブロック大会会長表彰状が東北各県より推薦された9名に授与されま

開会前のオープニングセレモニーでは、天童ひまわり園による元気のよい「明翔太鼓」が披露され、会場の雰囲気盛り上げました。

した。各県において、知的障がい者の福祉活動に多大な貢献をなされた方々です。山形県からは小国町で福祉活動に長年にわたって活躍された「助川暢」氏に授与されました。山形県知事感謝状は、山形市の内和久子氏、山形県大会会長表彰状は障がい当事者である長谷川勝義氏と石原健氏の2名に授与されました。またその席において、吉村美栄子県知事(代理・若松正俊副知事)、志田英紀県会議長、山本信治天童市長よりご祝辞をいただくことができました。さらに、大会決議、本人大会決議は満場一致で採択されました。次期開催地は岩手県です。岩手県会長の伊藤昇氏が来年10月6日



本人大会決議を読む阿部諒平さん

(日)盛岡市つなぎ温泉において開催するとの挨拶がありました。式典終了後、久保厚子氏(全国手をつなぐ



「中央情勢報告」久保厚子 全国育成会連合会会長

育成会連合会会長)より「中央情勢報告」がありました。

「中央情勢報告」においては、障害者総合支援法の改正及び報酬改定に関するポイントをお聞きしました。

- ① 「新たな障害者の望む地域生活の支援」
 - ② 「障害児の多様なニーズへのきめ細かな対応」
 - ③ サービスの質の確保に向けた環境整備
- 私たちが望んだニーズをしっかりと把握しておくことが必要だと言うことです。

第4分科会 「乗馬とぶどうを楽しむ」

大会式典等と並行して、本人大会第4分科会「乗馬とぶどうを楽しむ」が行われ、92名の本人さん達が参加しました。

2台の大型バスに分乗して、乗馬は「ホースガーデンむらやま」、ぶどう狩りは「王将果樹園」を会場に行いました。少々の雨模様でしたが、乗馬もぶどう狩りも初体験という人も多く、楽しいひとときを過ごすこ



本人大会「ぶどう狩り体験」



本人大会「乗馬体験」

とができました。

第1日目・育成会大会 分科会

第1分科会「これからの育成会」育成会活性化のためにどう活動するか」は、49名が参加し、今後の育成会のあり方について協議しました。



第1分科会「これからの育成会」



第2分科会「地域で暮らす」

第2分科会「地域で暮らす」は、生活支援をどのように支えるか、68名の参加者が24時間体制の施設として、職員確保に苦労していること、重度の障がい者への対応に課題があるといったことが話題になりました。

第3分科会「高齢化に備える」親なき後も安心した生活ができるようになるには「の参加者は144名、高齢化と親なき後の不安について、問題提起されました。

① 親が面倒見られなくなったら誰がみてくれるか。
 ② 親なき後の生活の場はどうか。
 ③ 日常生活の支援はどうなるか不安を解消する方策を今のうちから準備しておく必要性が話し合われました。

ら準備しておく必要性が話し合われました。



第3分科会「高齢化に備える」

第2日目（9月9日） 育成会大会記念講演会

第2日目、記念講演は、又村あおい氏（手をつなぐ編集委員）から「親も本人も元気で生活できる福祉サービスを考える」のテーマでお聞きすることができました。

地域生活の支援のための拠点づくりにあたって、相談支援を充実し、体験の場が提供できるようし、緊急時の対応が可能なものが必要と述べられました。



記念講演 又村あおい氏

第2日目・本人分科会

第5分科会「トラブル解決隊」困ったこと・悩んでいることを話し合おう」には、31名の参加者が集まりました。自分の考えを出し合う分科会でした。

第6分科会「音楽にのって楽しもう」元気にダンス・ダンス・ダンス」には、74名が集まりました。みんな楽しんで時間を過ごしました。



第5分科会「トラブル解決隊に集まろう」



第6分科会「音楽にのってたのしもう」

<p>知的障がい・発達障がい・ダウン症・てんかんの有る方のための</p> <p>ぜんちの あんしん保険 東京海上日動の個人賠償責任補償付 少額短期健康総合保険（無告知型）2016年創設</p> <p>こんな時に使えます</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気・ケガ・入院 最高日額1万円 ●虐待・差別を受けた 弁護士費用補償 ●他人のものを壊してしまった 個人賠償責任補償最高5億円 <p>東京海上日動と提携最 5億円 ※（総合生活保険個人賠償責任補償高） 引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社</p> <p>ネット申込・年払・月払OK クレジットカード払OK ※ネット申込のみ</p>	<p>特別支援教育を必要とされている方のための保険</p> <p>ぜんちの とも傷害保険 東京海上日動の個人賠償責任補償付 権利損害補償付傷害保険（2016年創設）</p> <p>こんな時に使えます</p> <p>誤って物を壊してしまう... 日常生活でケガをすることが多い... トラブルに巻き込まれた時、誰も助けられない...</p> <p>個人賠償責任補償最高5億円 入院・通院を日額保障 弁護士がサポート</p>	<p>詳しい資料のご請求・お問合せは下記まで</p> <p>※ご契約にあたっては必ず「ご契約に關するの重要事項」【約款】東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。</p> <p><代理店> 株式会社エフシーバンク 〒981-3213 宮城県仙台市泉区中山3-11-18 TEL: 022-348-4480 FAX: 022-348-4483</p> <p>ぜんち共済株式会社 ZENCHI 関東財務局長（少額短期保険）第14号 〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号岩本町シティプラザビル5F コールセンター 0120-322-150 http://www.z-kyosai.com/ [2017年12月作成 17-T08668]</p>
---	---	---

第8期 一般社団法人山形県手をつなぐ育成会収支計算書

平成29年4月1日より平成30年3月31日まで

科 目	予 算 額	実 績	差 異	摘 要
I 収 入 の 部				
1. 会 費 収 入	2,190,000	2,168,000	22,000	
正 会 員 会 費 収 入	2,160,000	2,138,000	22,000	団体38万円@2000×879名
賛 助 会 員 会 費 収 入	30,000	30,000	0	くれよん・かねやま・すぎのこ
2. 事 業 収 入	465,000	310,500	154,500	
福 祉 大 会	150,000	105,600	44,400	@600×176名
レ ク 大 会	300,000	204,900	95,100	@300×683名
参 加 費 収 入	15,000	0	15,000	
3. 補 助 金 収 入	2,757,000	2,854,578	△ 97,578	
ぜ ん ち 共 済	200,000	200,000	0	会報広告料ほか
地 方 公 共 団 体 助 成 金	150,000	150,000	0	北村山地区行政より福祉大会
サ ポ ー ト 協 会	140,000	200,000	△ 60,000	生活サポート協会
相 談 員 研 修	107,000	107,640	△ 640	相談員研修委託費
そ の 他 の 助 成 金	360,000	360,000	0	赤い羽根共同募金・J I C 保険
レ ク 大 会 助 成 金	1,800,000	1,800,000	0	県障害者スポーツ協会
受 取 国 庫 補 助 金	0	36,938	△ 36,938	
4. 負 担 金 収 入	850,000	859,520	△ 9,520	
文 書 管 理 負 担 金	740,000	740,000	0	旧育成会運営施設より
機 関 紙 配 布 配 分 金 収 入	110,000	119,520	△ 9,520	全国手をつなぐ育成会連合会
5. 寄 付 金 収 入	250,000	209,000	41,000	
福 祉 大 会 寄 付 金	250,000	209,000	41,000	福祉大会広告料・協賛金
6. 雑 収 入	63,000	114,875	△ 51,875	
受 取 利 息	3,000	150	2,850	預金利息
雑 収 入	60,000	114,725	△ 54,725	事業所協議会手数料他
当 期 収 入 合 計	6,575,000	6,516,473	58,527	
前 期 繰 越 収 支 差 額	18,206,249	18,206,249	0	
収 入 合 計	24,781,249	24,722,722	58,527	
II 支 出 の 部				
1. 事 業 費	6,575,000	6,883,380	△ 308,380	
給 料 手 当	2,650,000	2,650,618	△ 618	事務局給与
職 員 諸 手 当	460,000	472,236	△ 12,236	賞与・通勤手当
臨 時 雇 賃 金	10,000	10,000	0	知レク大会看護師報酬
福 利 厚 生 費	30,000	17,445	12,555	労働保険料
旅 費 交 通 費	200,000	288,395	△ 88,395	理事会・研修会ほか交通費
研 修 費	50,000	69,190	△ 19,190	研修会費
通 信 運 搬 費	220,000	256,910	△ 36,910	郵送料・電話料ほか
消 耗 什 器 備 品 費	50,000	0	50,000	
消 耗 品 費	500,000	667,546	△ 167,546	事務用品ほか
印 刷 製 本 費	300,000	251,112	48,888	福祉大会冊子・封筒・コピー
会 議 費	50,000	62,806	△ 12,806	打合せ会議費
賃 借 料	800,000	785,196	14,804	事務所・駐車場家賃・事務機器
広 報 費	100,000	145,800	△ 45,800	会報印刷代ほか
保 険 料	73,000	57,155	15,845	知レク大会傷害保険
手 数 料	90,000	94,934	△ 4,934	振込手数料・会計事務所
諸 謝 金	70,000	133,520	△ 63,520	講師謝礼金ほか
支 払 負 担 金	400,000	410,932	△ 10,932	全育連・東北B・各関係団体会費
支 払 助 成 金	120,000	120,000	0	地区レク教室助成金
委 託 費	80,000	100,540	△ 20,540	知レク大会業務委託・ビブス洗濯
雑 費	200,000	217,045	△ 17,045	福祉大会・知レクスタッフ弁当他
租 税 公 課	72,000	72,000	0	法人県民税・法人市民税
予 備 費	50,000	0	50,000	
2. 固 定 資 産 取 得 支 出	0	0	0	
ソ フ ト べ ア 購 入 支 出				0
当 期 支 出 合 計	6,575,000	6,883,380	△ 308,380	
当 期 収 支 差 額	0	△ 366,907	366,907	
次 期 繰 越 収 支 差 額	18,206,249	17,839,342	366,907	

第9期 一般社団法人山形県手をつなぐ育成会予算

(単位:円)

科 目	前年度予算	本年度予算	増 減	摘 要
I 収入の部				
1. 会 費 収 入	2,190,000	2,250,000	60,000	
正会員会費収入	2,160,000	2,220,000	60,000	2000×900人 団体会費420000
賛助会員会費収入	30,000	30,000	0	
2. 事 業 収 入	465,000	1,034,000	569,000	
福 祉 大 会	150,000	719,000	569,000	3000×200名・本1500×50名 乗馬2000×22
知レク大会	300,000	300,000	0	参加費300×1000名
相 談 員 研 修		0	0	
支 部 会 長 研 修 費	15,000	15,000	0	資料代500×30名
3. 補 助 金 収 入	2,757,000	3,467,000	710,000	
ぜ ん ち 共 済	200,000	200,000	0	会報・封筒等広告料ほか
地 方 助 成 金	150,000	100,000	△ 50,000	宿泊者200名いれば天童市より
サ ポ ー ト 協 会	140,000	200,000	60,000	生活サポート協会
相 談 員 研 修	107,000	107,000	0	相談員研修委託費
そ の 他 の 助 成 金	360,000	360,000	0	J I C 会報広告料・赤い羽根
レ ク 大 会 助 成 金	1,800,000	1,800,000	0	障害者スポーツ協会より
東 北 ブ ロ ッ ク 大 会 分 担 金		700,000	700,000	全育連10万東北B協議会60万
4. 負 担 金 収 入	850,000	850,000	0	
文 書 管 理 負 担 金	740,000	740,000	0	6施設より
地 域 助 成 金	110,000	110,000	0	手をつなぐ配布活動助成
5. 寄 付 金 収 入	250,000	150,000	△ 100,000	
福 祉 大 会 寄 付 金	250,000	150,000	△ 100,000	東北B大会広告
6. 雑 収 入	63,000	71,000	8,000	
受 取 利 息	3,000	1,000	△ 2,000	預金利息
雑 収 入	60,000	70,000	10,000	地域事業所協議会より
事業活動収支計	6,575,000	7,822,000	1,247,000	
II 支出の部				
1. 事 業 費	6,575,000	7,822,000	1,247,000	
給 料 手 当	2,650,000	2,650,000	0	事務局3名分給料
職 員 諸 手 当	460,000	460,000	0	賞与・通勤手当
臨 時 雇 賃 金	10,000	10,000	0	知レク大会看護師報酬
福 利 厚 生 費	30,000	20,000	△ 10,000	労働保険料
旅 費 交 通 費	200,000	350,000	150,000	理事会・研修会ほか交通費
研 修 費	50,000	50,000	0	研修会費
通 信 運 搬 費	220,000	320,000	100,000	郵送料・電話料ほか
消 耗 什 器 備 品 費	50,000	50,000	0	
消 耗 品 費	500,000	582,000	82,000	事務用品・知レク参加メダル他20万
印 刷 製 本 費	300,000	800,000	500,000	大会冊子印刷・コピーカウンター代
会 議 費	50,000	150,000	100,000	理事会等打合せ会議費
賃 借 料	800,000	800,000	0	事務所家賃48万コピー機20万他
広 報 費	100,000	100,000	0	会報印刷代
保 険 料	73,000	78,000	5,000	知レク傷害保険・東北B傷害保険
手 数 料	90,000	190,000	100,000	旅行会社・振込料・決算資料作成
諸 謝 金	70,000	170,000	100,000	大会謝礼金ほか
支 払 負 担 金	400,000	400,000	0	全育連・東北・関係団体会費
支 払 助 成 金	120,000	120,000	0	地区の教室30,000×4地区
委 託 費	80,000	100,000	20,000	ビブスクリーニング・発送業務
雑 費	200,000	300,000	100,000	東北B大会・知レク弁当お茶 他
租 税 公 課	72,000	72,000	0	法人税 県22,000 山形市50,000
予 備 費	50,000	50,000	0	
支出合計	6,575,000	7,822,000	1,247,000	
収支差額	0	0		
経常支出計	6,575,000	7,822,000		

3年目を迎えたライフステージに合った 地域福祉充実事業

▼お母ちゃん後見人の本音



5月31日(木) 山形市総合福祉センターにおいて、高野淑恵氏(埼玉県手をつなぐ育成会副理事長)による「成年後見制度」について、わかりやすく解説して

もらいました。59名の参加者でした。高野氏による明快な話を聞いて今まで縁遠いと思っていた「成年後見制度」が身近なものとして感じられました。子どもの人権擁護にとつてなくてはならないものだということが理解することができました。

▼疑似体験をやってみよう

6月29日(金) 新庄市「ゆめりあ」で「知ってほしい! わたしたちのこと」疑似体験をやってみよう!には、75名の参加者がありました。楽しく、わかりやすい知的障がいや発達障がいのある人が困っているだろう事柄について、体験してもらいました。



花笠は一歩隊の講師5名紹介中

▼いろいろな住まいのカタチ・いろいろな生活のカタチ 障害のある人たちの自分らしい人生を考える

7月26日(木)は、古川 慎治



氏(国立重度知的障害者総合施設のぞみの園事業企画部次長)をお招きし、山形市総合福祉センターにおいて、60名の参加者を集めての講演でした。

障がいがある人の「暮らし」にはどういうものがあるか。「どこに住むか」、「誰と住むか」、「何をするか」、「休みの日はどうするか」といったことにしっかりとした支援が必要であり、本人の同意を得る必要があることを強調する内容でした。

▼山形県知的障がい者レクリエーション大会開催

10月4日(木)、平成30年度山形県知的障がい者レクリエーション大会を開催しました。

「山形県総合運動公園屋内多目的コート」で行いました。参加団体28団体、出場選手530名。引率・競技役員、ボランティア等を合わせて総勢、約800名となりました。徒競走、風船割り競走、パン食い競走、玉入れ、リレーなどに熱戦をくりひろげました。また、応援合戦では、応援賞に「わっしょい!」と「せせらぎの家」が



車いす玉入れ がんばれ

輝きました。 ▼平成30年度一般社団法人 山形県手をつなぐ育成会 理事・監事紹介

- 理事長 阿部 高之(西村山)
- 副理事長 小山 憲樹(庄内)
- 理事 佐々木良子(東南村山)
- 理事 藤田 浩司(北村山)
- 理事 遠藤 正敏(置賜)
- 理事 佐藤 洋美(新庄最上)
- 理事 佐藤 昭子(旧法人)
- 理事 色摩 誠(福祉協会)
- 理事 三浦 祐一(校長会)
- 理事 浅倉 次男(学識経験者)
- 監事 佐藤 孝美(会計)
- 監事 広谷 明雄(会計)

なお、前年度までの田中俊久理事長、高橋一重理事、高橋清理事、佐藤憲司理事には、長年のご苦労に対し心より感謝申し上げます。

また、事務局員として長年勤務された八鍬三郎(舟形町)氏が退職。代わって小松幸男(尾花沢市)氏が勤務しております。

編集後記

田中俊久氏には理事長を4期8年にわたってお勤めいただきました。真室川町からさまざまな会議に欠かさずご出席くださいました。また、法人改革の際には、運営資金獲得に大きなお力添えがあり、育成会が今日あるのもそれのおかげです。自動車免許状を返納され、今まで通りには行動できないとの事情により理事長の職を辞すことになりました。今後は地元での育成会活動のご指導よろしくお願い申し上げます。

生活サポート総合補償制度

普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット)

被保険者 (補償の対象者) 知的障害児または自閉症児がご加入できます。	補償期間 (保険のご契約期間) 2018年4月1日から 1年間	掛金 入院2日目から補償プランB 掛金... 23,000円 (保険料 19,810円) 入院4日目から補償プランA 掛金... 17,000円 (保険料 14,810円)	
--	--	--	--

詳細は担当代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。
AIU損害保険と富士火災海上保険は、関係当局の認可等を前提として、2018年1月1日に合併による経営統合を行い、「AIG損害保険」になります。

<p style="text-align: center;">保険のお問合せはこちら</p> <p>■担当代理店・扱者 株式会社 ジェイアイシー 南東北支店 〒980-8485 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン18F TEL: 022-265-0010 FAX: 022-264-0081 受付時間: 午前9時~午後5時 (土・日・祝日・年末年始を除く)</p>	<p style="text-align: center;">ご加入のお問合せはこちら</p> <p>山形県知的障害児者生活サポート協会 〒990-0041 山形県山形市緑町1-9-30 緑町会館4階 山形県知的障害者福祉協会内 TEL: 023-664-0256 FAX: 023-623-9123 受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く) 2017年11月現在の内容です。(A-000801 2018.11)</p>
--	--

◇編集委員【切切イツ子・武田満 事務局=黒木仁・古澤薫・小松幸男】